



コラム 薬の飲み合わせ

「チャングムの誓い」という韓流ドラマがあります。このドラマは16世紀の朝鮮王朝を舞台に主人公が医女として王の主治医にまでなるサクセスストーリーなのですが、ドラマのストーリーとは別に「薬食同源」といわれる韓国料理が出てくるのが興味深いところです。ところで、ある回で王子が原因不明の麻痺になる話があり、この原因を主人公が解明するのですが、なんと原因は薬として使用したニクズクと、料理の中に入っていた高麗人参との相互作用で、高麗人参がニクズクの作用を増強したのが原因というあらすじでした。

相互作用は十数年前から大きく取り上げられるようになりました。それは、1993年の「ソリブジン事件」が発生してからのことです。ある種の抗がん剤を飲んでいた患者さんが、帯状疱疹に罹り、ソリブジンという薬を飲んだために、抗がん剤の作用が強く出て、発売後わずかな期間に15人の患者さんが死亡されたという薬害です。当時は、癌の告知が殆どされていない状況でしたから、患者さん自身も抗がん剤を飲んでいるという自覚がなかったのも被害を大きくした原因のひとつであったかもしれません。

相互作用が起こる原因としては、複数の医療機関で投与された薬同士で起こる場合が多いようです。私達薬剤師が、「ほ

かの病院で貰った薬はありませんか」とお聞きするのも相互作用をチェックしているのです。

相互作用は薬同士で起こるのはもちろんのこと、薬と食べ物の間でも起ります。ワーファリンという血液を固まらせる働きを抑える薬のやでいる患者さんが納豆を食べるとワーファリンの効果が弱くなり、血栓を作りやすくなります。ワーファリンと納豆は一緒に食べてはいけない組み合わせです。

今、問題になっているのは、患者さんが飲み忘れて余っている薬による相互作用です。例えば、ある患者さんは高脂血症治療薬のAという薬を貰っていますが、飲み忘れが多くて、薬が余っていたとします。病院で検査するとコレステロールは高いまま改善されません。医師はAの効果が弱いと思い、Bという薬に変更します。患者さんは薬をちゃんと飲んでいなかったと医師に言えず、「今度こそちゃんと飲もう・・・、前の薬も、今回貰ったのも一緒に飲めばコレステロールが下がるだろう・・・」と両方の薬を飲んでしまいます。その結果、AとBと一緒に飲んだために副作用が増強されることがあります。

薬は用法・用量を守って飲んでください。そして、いつもと何か違うと感じたら、すぐにご連絡ください。(薬局長:芝 純子)

■外来担当医表

外来	初診	月	火	水	木	金	土
	再診	坂本	徳田	中矢	柚木	岡	交代制
検診		中矢	徳田	坂本	上田 (午前のみ)	岡	中矢
心エコー		岡	坂本	柚木	中矢	徳田	交代制
透析			坂本		坂本		
内視鏡		徳田	上田	岡・徳田	岡	柚木	交代制
						山元	

※主治医が外来当番ではない日にこられた場合、主治医名を看護師にお知らせ下さい。 ※何かわからないことがありますたら、遠慮なく看護師におたずね下さい。

▶当院では各々の専門認定医による下記の専門外来も行っております。

循環器専門外来 肝臓専門外来 腎臓専門外来

① 診療時間のご案内

●受付時間（月曜日～土曜日）

午前8時30分～午前11時45分／午後1時15分～午後4時50分

●診察時間（月曜日～土曜日）

午前8時45分～午後0時15分／午後1時15分～午後5時00分

交通のご案内

●市電

新屋敷電停から徒歩5分・天文館電停から徒歩10分

●市営バス(13番線)

松原小学校前バス停から徒歩1分

かんがら橋バス停から徒歩1分



社会福祉法人 恩賜 済生会鹿児島病院

〒892-0834 鹿児島市南林寺町1-11 ☎ 099-223-0101 FAX 099-227-4790
URL: <http://www.synapse.ne.jp/saiseikai-kagoshima/index.html> E-mail: saiseikg@orange.ocn.ne.jp



社会福祉法人 恩賜 済生会鹿児島病院

「広報誌」

済生かごしま SAISEI KAGOSHIMA



デュランタン(タカラズカ)

基本理念

「救療済生」の済生会精神に則り、地域の人々の健康を守り、福祉に貢献する。

基本方針

- ①私達は、患者様から信頼され、満足していただける医療を目指して、常に患者様の立場に立ち、患者様の気持ちになって医療を行います。
- ②私達は、患者様の権利を尊重し、患者様の意思に添えるよう努めます。
- ③私達は、常に医療に気を配り、患者様が安心して医療を受けられるよう努力します。
- ④私達は、最新の医学知識や医療技術の習得に研鑽します。
- ⑤私達は、地域の人々と交流を図り、人々が病院に求めている要望に応えられるよう努力します。

患者の権利と責務

「患者様には、守られるべき次の権利があります。」

- ①その人格を尊重される権利があります。
- ②社会的地位・国籍・人種・性別などにより差別をうけることなく、公平・平等に医療を受ける権利があります。
- ③いつでも最善の医療を受ける権利があります。
- ④自分が受けている医療の安全に関するすべての情報について知る権利があります。
- ⑤治療を受ける権利、自ら治療方法を選ぶ権利、また自ら治療を拒否する権利があります。
- ⑥自分に関するすべての個人的秘を守ってもらう権利があります。
- ⑦自分の受ける医療についてセカンド・オピニオン（別の医師の意見）を申し出る権利があります。

「患者様には、次の責務があります。」

- ①診療行為に協力すること。
- ②療養に専念すること。
- ③病院の決まりを守ること。

No.09
Aug.2007

発行/済生会鹿児島病院

紹介 「外 来」

私達外来は病院理念に基づき、各部署との連携をとりながら、内視鏡部門・健診部門・診療部門・処置・検査に分かれ6人のスタッフが日々の業務に携わっています。

周辺地域住民の高齢化が進んでいる中、来院される患者様も高齢の方が増えています。受診時にお1人お1人のニーズにこたえられるよう、患者様・家族との会話を大切に、日常生活等の相談や、安心安全面への配慮、笑顔と温かい声かけを常に心がけています。

これからもアイデア・工夫・改善をつみかさねながら、尚一層満足していただける看護サービスが提供できるよう努力して参ります。



地域医療ネットワーク 「鶴丸調剤薬局」のご紹介



はじめまして。済生会鹿児島病院のとなりにある青いテントの小さな薬局・鶴丸調剤薬局南林寺支店です。ほんとうにちいさな薬局なので、薬剤師と事務ひとりずつで仕事をしています。少し忙しい日は薬剤師が二人いることもありますが…

管理薬剤師は、平成8年開局以来勤務している大徳といいます。禁煙アドバイザーのうでを試してみたいと日々思っているのですが、なかなかチャンスがありません。禁煙をしてみようと思われましたら、どうぞご相談ください。

鶴丸調剤薬局グループは、鹿児島市内と姶良・川内に店舗があります。管理薬剤師が休みのときは他の店舗から助っ人が来ます。みんな魅力的な薬剤師なので、ご期待ください。

今回の写真は事務長です。仕事をしているように見えるものを選ぶよういわれましたので、正面からの写真ではありませんが週に何回かきててくれますので、そのときにゆっくり顔をみてください。

これからも どうぞよろしくお願ひいたします。



開業時間 【月～金】午前8時45分～午後5時45分

【土】午前8時45分～午後5時

申し込み・お問い合わせ 鶴丸調剤薬局南林寺支店

住所:鹿児島市南林寺町1-12 電話:099-227-0989

夜間・休日対応電話:080-3960-0059

特集 なでしこ健康講座

地域の方々との交流を図るため、「なでしこ健康講座」を開設し、平成18年12月21日に第1回目を開催しました。

内容は

第1回 高血圧について(坂本医師)

第2回 腎炎について(岡医師)

第3回 薬の正しい使い方(芝薬剤師)

第4回 糖尿病の症状(徳田医師)

第5回 糖尿病食 バランス(平・北川栄養士)

第6回 糖尿病食 おかず(平・北川栄養士)



それぞれ専門的でありますので難しい点もありますが、出来るだけ易しく、解りやすく、そして今話題のトピックスなど入れて講義して戴くようお願いしました。結果6回で延べて参加数110名(10名～25名)1回平均18名強でありました。毎回アンケートをお願いしていますが、とても勉強になったとの評価が多く、そして質問も多いようでスタッフ一同とても喜んでおります。また「本日の講座はどこで知りましたか」も、最初は病院内掲示が多かったようですが、徐々に新聞掲載「みなみのカレンダー」、町内会の「回覧板」を見られて来られる方が増えている状況であります。それと来られた方が誘って来て下さるようになったようでもあります。

勉強とは別に癒しの一環として手作りの花の苗等をお配りしております(今迄なでしこ、ひまわり、コスモス)今後、朝顔、ほうすき等を計画しています。

地域の皆さんの健康に少しでもお役に立てばと…これからも第7回目「腰を伸ばしてストレッチ」第8回目「夏に向けての健康管理」等々続々と企画しております。どうぞご期待下さい。

そして皆様お誘い合わせの上ご参加下さいますよう、お待ち致しております。

